



田村市立都路中学校 学校だより 第21号

令和6年9月27日(金)
発行責任者：校長 佐藤 仁
TEL：0247-75-2009

めざす生徒像：自らの志を語り、目標に向かって主体的に努力できる生徒

めざす学校像：志を育む学校 学び合い、高め合う学校 信頼され、愛される学校

がんばりました！ 田村支部中学校新人総合体育大会

9月25日(水)、26日(木)、田村支部中学校新人総合体育大会が行われ、本校からは卓球部、野球部が出場しました。各競技において、勝利を目指し一生懸命プレイしたり、仲間を精一杯応援したりする姿が見られました。大会を通して、感じたことや達成感、何より悔しさを忘れずに次の大会に向けて努力を重ねてほしいと思います。

賛否両論あるかと思いますが、最も人を成長させてくれるのは「悔しさ」だと思います。私自身、学生時代、野球や水泳、マラソンなど、スポーツに打ち込みました。大会に向けて、目標を設定し、達成のための努力を積み重ねましたが、その努力が報われたと感じたことは、数回しかありません。

野球では「あの時自分がボールを処理していれば...」、「あの場面で、自分が一本打っていたら...」と大会を振り返ったり、「練習量が足りなかった」、「大会前の調整が失敗したか...」、「食事にもっと気を遣うべきだった」、「睡眠時間が十分ではなかった」と大会前の生活や練習を振り返ったりしました。そしてふつふつとこみ上げてくる自分へのいらだちや悔しさ、共に勝利をめざし汗を流した仲間への申し訳ないという思い。それらを払拭するには次の大会で納得のいくプレイをするしかない。そのためどうするか、どうするべきか。答えは考えるまでもなくあきらかで、部活動だけでなく、家庭での基本的な生活を見直し十分な練習時間を確保し納得がいくまで練習する。退路を断つではありませんが、自分に言い訳をしないように、徹底的に練習しようと思決め実践しました。適当に練習していればそれなりの結果しか得られない。他から止められるほど練習すれば、納得のいく結果が得られる。「練習はうそをつかない」、「努力は報われる」という思いで練習に取り組みました。

中学生時代にしか、流せない汗や涙があります。うれし涙であろうが、悔し涙であろうが、その涙の源は一生懸命取り組んだ時に流れる汗だと思います。生徒のみなさんには、今回の支部中体連新人大会で感じた思いを糧に、次への明確な目標とその達成のための具体的なプランを考え、実行、継続してほしいと思います。がんばれ！ 都中生！

○野球部 **優勝** 県中大会出場(10月5日、6日)

部員10人全員で戦い勝ち取った優勝です。県中大会へ向けて一つ一つのプレイの精度を上げ、県大会出場を目指してがんばってください。

○卓球部 1年男子シングルス：S・Tさん 3位 Y・Hさん 惜敗
1年女子シングルス：M・Fさん **優勝**
1年女子シングルス：Y・Mさん **ベスト8**



保護者の皆様、ご家族、地域の方々には、朝早くから生徒の送迎や会場での応援、昼食の準備など、大変お世話になりました。ありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。

